

### 保育計画(新規事業計画)成果報告書

|         |                                                  |
|---------|--------------------------------------------------|
| 法人名等    | NP0 法人ちいさいほいくえんみんなの里                             |
| 施設名     | みんなの里みなとほいくえん                                    |
| 報告者（役職） | 岸上 純也（事業部長）                                      |
| 住所・連絡先  | 大阪府大阪市港区 1 丁目 1-21                               |
|         | ☎ 06-7632-5476<br>E-mail info@min-satominato.com |

○タイトル（保育計画 or 新規事業計画）

保育士と保護者のための保育業務支援システム導入計画

○主な助成備品

iPad 端末 3 台、管理用パソコン 1 台

#### 1. 保育計画(新規事業計画)策定の目的

みんなの里みなとほいくえんにおける保育業務支援システム導入計画の目的は、保育の質の向上と保護者とのコミュニケーションを円滑にし、効率的な運営を実現することです。具体的には、日常の保育活動や保護者への情報提供をデジタル化することで、職員の業務負担を軽減し、より多くの時間を子どもたちと過ごすことを目指します。

また、保護者にとっても、リアルタイムでの情報共有ができることで、安心感を提供し、信頼関係の構築に寄与します。

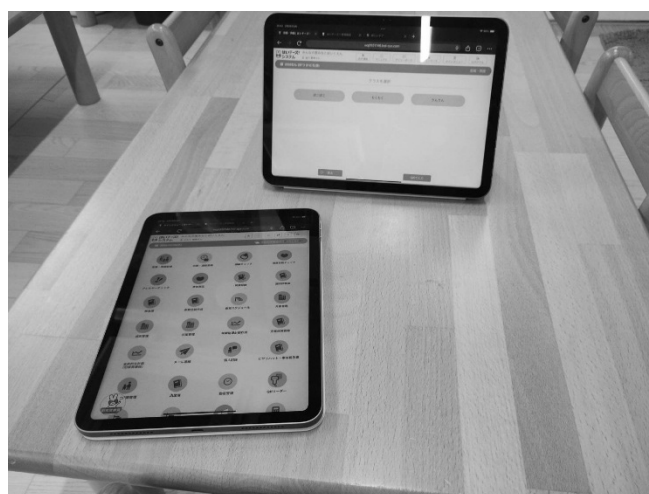
#### 2. 具体的な実施内容

これまで紙への手書き記入で管理していた園児の登降園管理や、保育士の勤務シフト管理などを、保育 I C T 株式会社が提供する保育園用管理システム「はいチーズ！システム」を導入することで、各種保育計画や保育日誌をデジタル化し、各種業務の効率化を図ることにしました。

さらに、職員向けに業務管理用のツールを導入しました。業務管理用ツールは、これまで園長等のみが活用していましたが、今回、保育業務支援システム導入にあたって、職員用の端末も準備できたことから、運用方法を大幅に変更し、職員が自ら情報を集めて、保育計画を円滑に作成することが可能になりました。これにより、全体の業務フローを見直し、よりスムーズな運営が実現しました。

導入にあたっては、保育士向けの説明会、保護者向けの説明会をそれぞれ 3 回開催するなど、一人ひとりに丁寧に伝えていく機会を設けました。

今後は順次保護者への情報共有等もデジタル化し、専用アプリを通じて保護者がいつでも閲覧できる環境を構築していく計画としております。



### 3. その成果と評価

保育業務支援システム導入の結果、みんなの里みなどほいくえんに勤務する保育士の業務効率が向上し、職務にかかる時間が短縮されました。これまで保育案や、保育日誌等の作成に毎日 40 分程度かかっていたものが、10 分程度で完了するようになりました。

また、業務管理用のツールの活用により、毎月 3 時間程度かけて、月ごとの保育体制を確認していましたが、その作業を省略することができました。保育計画の作成においても、先生によって異なりますが、1 人あたり平均 30 分程度の時間を省略することができました。

保育士同士の情報共有も円滑になり、チームとしての連携が強化されました。さらなる成果として、保育の質が向上し、子どもたちの満足度が上がったという評価が得られています。

#### **4. 今後の課題と展望**

今後の課題は、保育業務支援システムの操作に不安を感じる職員へのサポート体制を充実させることです。また、新しいシステムに対する適応が進まない場合も考えられるため、定期的な研修を設けることが重要です。今後の展望としては、保育の質を更に向上させつつ、ゆとりを持ちながら子どもたちに向き合い、個々の子どもに合わせたサポートを丁寧に行うことを目指します。そして、一人ひとりと丁寧につながり安心できる居場所を創ります。また、地域との連携を強化し、社会全体での子ども育成に貢献する取り組みを進めていきたいと考えています。

以上